

ひとり酒場で 作詞：吉川静夫 作曲：猪俣公章

ひろい東京に ただ一人

泣いているよな 夜が来る

両手でつつむ グラスにも

浮かぶいとしい 面影よ

夜の銀座で 飲む酒は

なぜか 身にしむ 胸にしむ

嘘で終わった 恋なんか

捨てて忘れて しまいたい

男の意地も おもいでも

流せ無情の ネオン川

夜の銀座で 飲む酒は

なぜか 身にしむ 胸にしむ

暗い東京の 酒場でも

夢があるから 酔いにくる

今夜はとて 淋しいと

そつとあの娘が 言っていた

夜の銀座で 飲む酒は

なぜか 身にしむ 胸にしむ